



『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

令和4年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
令和4年2月17日

事業名	地域コミュニティ活動の活性化支援	予算(案)の概要	83・84 ページ
予算額	令和4年度予算額 (前年度予算額)	15,875 千円 4,971 千円	(拡充)
取材先	地域振興部地域コミュニティ課長 石塚 (電話 03-5273-4098)		

地域コミュニティ活動 の活性化支援



新型コロナウイルス感染症の影響により、「新たな日常」を踏まえた地域コミュニティ活動の仕組みづくりが求められています。こうした中、区ではiPad等をコミュニケーションツールとして活用したモデル事業や地域センターにおけるWi-Fi環境の整備等を行います。
これらにより、ウィズコロナ時代における地域コミュニティ活動を継続するための支援を進めます。

町会・自治会活性化支援

【予算額 5,322千円】

OSNS (Facebook・LINE) 入門講座

★本講座4回

・「Facebook」及び「LINE」の基本的な使い方を学ぶ
スマートフォンのアプリ「LINE」などを利用することで、円滑な情報共有が可能になり、町会・自治会運営の手助けとなります。



★補習講座3回

- ・本講座のフォローアップ
- ・受講者の要望によりオンライン会議アプリ「Zoom」の利用方法
- ・パソコンを使用し名刺やチラシを作成、印刷する方法等

★出張講座「スマートフォンの使い方教室」(2町会)

・スマートフォンの基本的な使い方や設定の仕方などを学べます。

○町会・自治会向けコンサルティング

(4団体×3)

希望する4団体に対し年間3回のコンサルティングを行います。前年度に実施した団体のフォローアップ派遣も可能です。

(活性化に向けたテーマの例)

- コロナ禍における町会・自治会の運営
- 町会・自治会活動のPR・周知
(ホームページ立ち上げ、電子掲示板の導入など)
- 地域の町会とタワーマンション等集合住宅居住者との交流・連携

iPad等を活用した地域コミュニティの活性化

【予算額 2,372千円】

iPad等のコミュニケーションツールを活用し、「新たな日常」を踏まえた平時の町会活動の活性化と、災害時の情報伝達手段の拡充に向けた「実証実験」を実施します。(榎町地区)

実証実験等の概要

- 電子回覧板アプリの実証実験(3町会を予定)
- 地区町会連合会対象「iPad 操作講習会」の開催
- 地区町会連合会主催行事でのiPad活用



電子回覧板アプリ実証実験 榎町地区3町会

実証実験時期

令和4年6月～12月(予定)

参加対象

町会役員・町会員

電子回覧板アプリ



- ・電子回覧板機能
- ・電子町内会機能
- ・画像の共有機能
- ・災害時の安否確認機能

町会員のスマホ等
(アプリをダウンロード)

導入効果

- ・電子回覧の実施による省力化、ペーパーレス化
- ・「新たな日常」での電子町内会の開催
- ・未出席イベントも、画像回覧により確認可
- ・災害時の迅速な安否確認も可能に

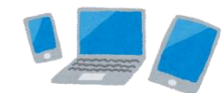
新たなツール利用による
地域人材の掘り起こしにも

地域センター無料公衆無線LAN環境整備

(令和4年7月導入予定)【予算額 8,181千円】

地域センターにおいて、「新たな日常」の視点を取り入れたコミュニティ活動を推進し、定着化を図るため、各地域センターに無料公衆無線LAN環境(アクセスポイントの設置)を整備します。

お手持ちのスマートフォン、タブレット、パソコン等の端末から、無料でインターネットに接続できるようになります。

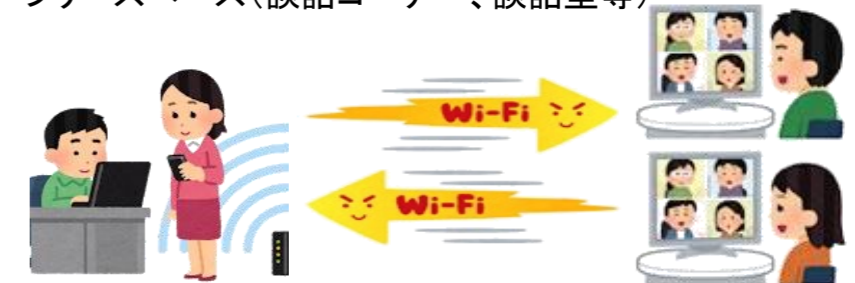


○活用例

- ・「オンライン会議」や「各種講座」などの地域コミュニティの活性化につながる団体活動
- ・フリースペース(談話コーナー、談話室等)での「情報検索」

○利用が可能となるスペース

- ・会議室(2部屋)
- ・多目的ホール
- ・フリースペース(談話コーナー、談話室等)



※利用にあたっては、ID・パスワードを付与